

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2020. No.354

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています



Contents

HOLPFI活動状況 酒井スタッフに聞く P.3

希望の種を蒔き続けよう

特集:わたしから始める、世界が変わる

【応援して下さる皆さんの広場】 P.6-7

●チャイサポハロハロ ●WFD奈良北

モザンビークのサイクロン・アイダイ被災者支援で
学校再建に取り組むスタッフと先生(P.2に記事)

地球市民の大半は今も恩恵から取り残されている

2020年が始まりました。今年は東京オリンピックの年です。世界中の目が東京に注がれます。2000年にこなされたシドニー・オリンピックの時、私はエチオピアにいました。エチオピアはケニアと並んで、長距離王国です。高地であることが選手の強靱な心肺能力を育んでいきます。子どもたちにとっても長距離のランナーは憧れのスターです。しかし、陸上以外の種目は全く報道されず、日本人選手は高橋尚子さん以外の成績を全く知ることができませんでした。実はその当時もインターネット技術は普及していたのですが、それは政府を中心とする中央の人々の特権で、市民は恩恵を受けることがほとんどありませんでした。そしてその状況は20年経った今もあまり変わっていないのです。それはアフリカ全般に言えることです。

2019年3月にアフリカ南部のモザンビークに大きな被害をもたらしたサイクロン・アイダイは、死者600人、家屋損壊24万戸という途方もない被害をもたらしました。特に子どもたちが大好きな学校3344校が、大きな被害を受けたと調査チームから報告を受けた時は、私自身が非常なショックを受けました。Hunger Zeroも生活再建と学校再建のためにいくつかの現地パートナーを通して応援を開始しました。

あれから8ヶ月が経ち、現地にいるローレンス（旧姓小倉）綾子さんが学校再建をしている様子をLINEを通して見せてくれました。（写真㊦）FHモザンビークの

スタッフであったカラベティさんが自分の農業に使っていた土地を提供し、そこに学校を再建していました。南半球は本格的な夏を迎え、樹の下での授業にも限界があります。ましてや雨が降り始めると授業どころではありません。早く雨風をしのげる教室がほしいのです。それが、まもなくいくつかの教室が使えるようになるということです。

時代とともに生活はますます便利になり、その変化の速度も加速的に上がっていきます。しかし、その蚊帳の外にいる人のほうが世界には圧倒的に多いのです。そして、自然災害が大型化するなかで、一番被害を受けやすいのは最も弱い立場に置かれている人々です。

年末に行われた地球温暖化対策のCOP25（地球温暖化対策を話し合う国連の会議）には190の国が参加しましたが、パリ協定から離脱したアメリカを始め、中国、インド、日本といった二酸化炭素排出大国は議事に参加をしませんでした。（※初日の首脳級会合）自分さえ良ければよい、自国主義という考え方が誤りであることを発信し続けていきましょう。

「私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです」（聖書）

ハンガーゼロ理事長 清家弘久



左端にローレンス綾子さん（元駐在員）



ハンガーゼロ
Hunger Zero

わたしから始める、世界が変わる



ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン

HOLPFI



アルサビの村づくりに奮闘する住民

ピナマラン県マイ村に2017年に小学校の分校ができましたが、本校にするには村は谷間にあり学校に適した敷地がないこと、また反政府グループによりマイ村の治安が悪くなってきたことから、子どもたちの将来のためにと村人と村のリーダーは、195人の村人を村ごと1.5km離れたソコロ県アルサビ村に引越しする決断をしました。移転先のアルサビ村での人々の様子について、HOLPFIの酒井夫妻から聞きました。

土地の取得：法律よりも慣習が優先されるフィリピンにおいて、そこに原住民の権利が加わることで、権利者から譲ってもらうための土地の登記の手続きは、たいへん複雑です。HOLPFIのスタッフが地域の代表に付き添ってマニラの官庁に行き、約2年間にわたって手続きを手伝いました。今は役所側の手続き完了を待っている状態です。

住居：元の家を解体して少しずつ持ち込んで建て直し、村全体が以前に近い状況に戻りました。



村の引越しのため解体した学校の部材を運ぶ女性



村人が集まって「収穫感謝祭」を祝う



学校：マイ村に建てていた学校も解体して運び、再建しました。生徒は幼稚園クラス、1年生・2年生の合同クラスの2クラスで計58名、先生は計3人。

支援はコミュニティベースに徹する

HOLPFIはマイで学校を始める時、子どもの就学登録のために親の婚姻届、子どもの出生証明をお手伝いしました。また遠方からくる学校教師の生活用品をサポートしたり、学校のため発電設備の支援などをしました。発電設備は住民の携帯電話の充電にも使われています。HOLPFIは子どもに対する直接的な支援ではなく、コミュニティが子どもたちを支えられるようにサポートしています。

食料：基本的には農業。食べ物がなくても山に行けば何らかの食べ物を手にいれることができるのと、家の前で菜園ができるようになったので、今までより食料が手に入りやすくなってはいます。

水：湧き水を溜めるためのタンクが欲しいという声があり、今までは誰かが作ってくれるのを待っているだけでしたが、その建設を行政に要望、申請することが少しずつできるようになりました。

保険：病気は悪霊の仕業と考える人たちもいます。病気の原因や予防への理解が進むように計画しています。

地元で学校ができたので、学校活動で保健衛生教育にも期待しています。

今後の課題：女性の非識字率が高くて発言する場を与えられていないことが多いので、その点にも関わればと考えています。村人の努力によって生活が改善されているのでその努力が継続されていくように支援をしていきます。



生活の中から“始める”

●書き損じ年賀はがきで応援する（古くてもOK）

ポストに未投函のはがきや未使用切手を支援活動に用いさせていただきます。かもめーるのはがきや収集されていた記念切手類なども大歓迎です。

【2019年7月～12月実績】

注 はがきは日本郵便のものに限定

はがき：127,625 円分の切手に換金。

未使用切手：112,302 円分。

国内外の通信費軽減になります。



●『本 de リンク』で支援する

ハンガーゼロ愛知事務所では送られた本や CD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に使わせて頂いています。引越し、大掃除の際にもぜひお送りください。ご利用の際はまず愛知事務所へお問合せください。

【2019年7月～11月実績】

15,745 円（本 314 冊、CD 121 枚、DVD 5 枚）

注：破れや汚れ、書き込みのある本、個人出版、文学全集は換金対象外です。CD 類ケース割れ、ジャケット、歌詞カード不備、海賊版、個人用、カセットや VHS ビデオも不可。

●フェアトレードの商品を購入する

開発途上国の生産者から適正な価格で買い取られた商品などを扱う協力企業（株式会社キングダムビジネス）から買って支援する。（販売収益からハンガーゼロ募金をいただいています）P.8 に商品案内が掲載されています。



【購入者の声】 友人とハンガーゼロ主催のチャリティーコンサートに行きました。楽しい一時を過ごした後、講演者が飢餓の現状を「知ること、関心をもつこと、行動すること」と話され「フェアトレード商品を買う事も具体的な支援になります」とアピールされました。初めて知った飢餓と貧困の現実但至少でもお役に立てればとの思いで友人とフェアトレードチョコレートと手作り品を買って帰りました。物を購入することも役に立っていいですね。気軽にできる支援を続けます。（大阪市在住 K.K）

●募金箱金箱を家庭や職場に置く

小銭と思われるお金も、飢餓・貧困に苦しむ人々にとっては何倍もの価値を持ちます。募金箱は、各事務所にお問合せください。



●ハンガーゼロ自動販売機を利用・設置する

飲み物を買くと1本につき10円がアフリカの人々に寄付されます。また防災対応のハンガーゼロ自販機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄用としてパンの缶詰、水各96個が無償で提供されます。現在、全国で112台が稼働中です。さらに設置して下さる方を求めています。

【2019年募金実績】

設置 112 台 3,200,477 円

設置のご相談は大阪事務所までどうぞ。設置費用は必要ありません。飲料の補充や回収も業者が行います。

【香芝ゴスペルチャーチ】自動販売機設置以降、ドリンクを買われている姿をよく見かけるようになり、特にこの夏は、多い月で200本もの売り上げがありました。自動販売機をきっかけに飢餓の現状、ハンガーゼロの働きを知ってもらうと同時に、当教会の存在も認知してもらえることとなり、教会員一同喜んでおります。



●ネットを活用する

自分のホームページやブログ、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどの SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用して、飢餓の現状を伝え、支援参加の輪を広げてください。



●使用済み歯ブラシを集めて国際協力

テラサイクルの「歯ブラシ回収プログラム」を通じて当機構に募金ができます。詳しくは東京事務所へ。P.7 に取り組み事例が掲載されています。

希望の種を蒔き続けよう!

Child Supporter
チャイルドサポーター

参加や計画して“始める”

●世界食料デー大会を開催する

2019年は山口県柳井市で「第1回 柳井大会」が行われ、親善大使のナイト de ライトが演奏とウガンダの現地報告をしました。当日は地元市長がご家族で来会されるなどサプライズもあり大いに盛り上がりました。柳井



大会は前年のプレ大会を経て大会が実現しました。食料デー大会は、支援者の方々が主体となって計画・運営され、ハンガーゼロは講演者・現地報告者、親善大使派遣(調整)、チラシ・ポスターの提供などで運営をサポートさせていただきます。あなたの町でも食料デー大会を!

●海外スタディーツアーやファシトレに参加する

「海外キャンプ」に参加して、活動地の人々の生活を体験したり国際協力の実際を見たり、ハンガーゼロ・ファシリテーター・トレーニングに参加して、飢餓の現状や国際協力の専門的な学びをしませんか。

★海外スタディーツアー

①バングラデシュ・スタディーツアー (P.8 に案内)

日程：2020年3月6日～14日

問い合わせ：ハンガーゼロ東京事務所

申し込み：03-3518-0781 jifhtokyo@gmail.com

★国内・ファシリテーター・トレーニング

講義とワークショップで学ぶ

日程：2020年3月16日～20日

会場：東京基督教大学

問い合わせ：大阪事務所 Tel：072-920-2225

●事務所イベントに参加する

東京・愛知・大阪・沖縄事務所で適時行うイベント(学習会)やボランティア(翻訳、発送作業など)に参加して頂けますのでぜひお気軽にご参加ください。東京事務所では「ハンガーゼロパートナー」の登録申込みもできます。

●企画して実行する

ハンガーゼロのスタッフを学校(幼保・小中高・大)や団体に招いて、世界の現状について話を聞くことができます。親善大使と共にチャリティーイベントを開催したり、文化祭で飢餓問題の啓発活動や写真パネル、国際児童画の展示などの企画を立てたりしませんか。



募金を“始める”

- 「ハンガーゼロサポーター」になる。(一口1000円/月)
 - 「チャイルドサポーター」になる。(子ども一人4000円/月)
 - 「JIFHサポーター」になる。(一口500円/月)
 - 「海外スタッフサポーター」になる。(一口1000円/月)
- 他「Tポイント募金」Tカードの保有ポイントで募金する。
「つながる募金」スマホやPCから支援する。

Okudaデザインプロジェクト 施工例
ガレージハウス富士見平

Okuda DESIGN PROJECT

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—

インターネットでお部屋探し。
www.okuda-re.co.jp

代表取締役社長 奥田 英男
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9
042(552)0102(代)

総合不動産 有限会社オクダ商事
総合建設 オクダ建設株式会社

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは大阪事務所・碓井まで



サポーター同士の交流と支援呼びかけ



「チャイサポハロハロ」は、チャイルドサポーターさんのご協力を得て2019年から始まった、サポーターさん同士の交流の場です。

ハロハロ (Halo-Halo) とはタガログ語で「まぜこぜ」という意味で、フィリピンではポピュラーなスイーツ。「共に生きる家族」として支援する、されるという立場を超えて支援者も子どもたちも一つに、との想いが込められています。

【チャイサポハロハロ参加者の声】

「現地で実際にサポートの働きを担ってくださっているスタッフのお話を聞いて、まるで目の前に子どもたちがいるような感動を覚えました」(東京)

「チャイルドサポートをしている友だちに誘われて初めて参加しました。途上国に生きる子どもたちの厳しい現実を知ることができて、私もこの子どもたちの人生にほんのわずかでも関わりを持って共に歩んでみたいと思い、サポ-



8月東京での開催風景、クイズ形式で楽しく行いました



7月には香港で、また8月にはタイ(写真左)でも開催されました

ターの申し込みをしました」(沖縄)
「写真や映像を用いての説明は、支援している子どもたちがどんな場所で生活して勉強に励んでいるかがよくわかるもので、さらに真心込めて支援してゆこうと思いを強くしました!」(沖縄)



お話しするサポーター 安室 こん(沖縄)

ハンガーゼロはさらに全国に出かけてまた海外でも、サポーターの皆さんとお会いし、またサポーターさん相互の交流も深めていただけるようにしていく予定です。

そして多くの子どもたちが希望を持って夢に向かって歩めるように、また子どもを取り巻く家族、コミュニティが自立できるよう、共に生きていく「チャイハロ・ファミリー」がさらに増やされることを願っています。



サポーターの上原親善大使も参加(沖縄)

支援できる自販機設置を学校に要望

創志学園高等学校 2年 渡邊七星さん

授業で国連のSDGs(持続可能な開発目標)のうち「飢餓をゼロに」というテーマを学習してきました。「なぜ飢餓で苦しむ人があるのか」を調べるうちに、飢餓の原因は単純に食べ物がないだけでなく、食べ物が十分にあつても貧困のため

に食料を買うことができない人がいること、また食料を作っても海外への輸出に使われて



渡邊さん(左から2番目)と学友の皆さん

しまうことを知りました。そこで飢餓をゼロにするために何が出来るかを考えました。そして「ハンガーゼロ支援型自動販売機」のことで知り、この自販機を私たちの学校で導入できれば、飢餓で苦しむ人々への助けになるのではと思いました。またこの自販機が置かれている限り、持続的に支援をし続けることが出来ると考えて、先生方にご協力頂き、11月にハンガーゼロ自販機を設置することができました。みんな「どうせドリンクを買うならハンガーゼロで」と言って積極的にこの自動販売機を使ってくれています。

私はこの活動を通して、より多くの人に世界で起きている飢餓の現状を知って欲しいと思いました。また少しの行動で世界を変えることが出来ることを学んだので、これからもこうした活動を続けていきたいと思ひます。

世界食料デー奈良北大会に取り組めて良かった!

「知る」そして一歩踏み出す

藤川義人 (日本基督教団 奈良高畑教会牧師)

10月19日(土)奈良高畑教会にて第21回世界食料デー奈良北大会が開催されました。高畑教会として初めての受け入れでした。半年前に奈良北大会実行委員会より、世界食料デーの会場として高畑教会に打診があり、これを機に教会としてハンガーゼロの活動に触れる好機として、教会を挙げて参加させていただくこととなりました。

「世界食料デー」の開催にあたり、大人だけでなく子どもにも参加してもらえることを願い、教会の子どもたちと一緒に準備をしました。当日の受付には、教会の中学生たちも担当して来場者を迎えました。またチラシ配布も教会周辺を中心に教会員の総力を挙げて行われました。

集会は、音楽ゲストの声楽家テノールの水野亜歴氏とハープ奏者の堀田千晶氏によるコンサート、現地報告とし



子どもたちのハンガーゼロ!

小川富佐子 (奈良高畑教会)

奈良高畑教会 CS(教会学校)では、幼児から中学生まで10名の子どもたちが中心となりシャローム(教会所有の土地)の畑で色々な作物を育てています。子どもたちは、日々成長する作物に神様の豊かな恵みのみわざを見えています。

世界食料デー奈良北大会が高畑教会で行われると聞いて、シャロームの野菜(写真上)を教会で販売して募金しようと頑張りました。またポスターの下に小さくあった「ハブラシ リサイクルで寄付!」を見つけ、多くの人に集めてもらおうと古ハブラシを入れる専用の封筒を手作りして配りました。以下は、子どもたちの献金贈呈の言葉です。

「シャロームの庭で神様の恵みの野菜がたくさん実りました。この恵みを分かち合います。世界中の飢餓で苦しんでいるお友だちの“目に見える飢餓”“目に見えない飢餓”が、

どちらも少しでも減りますように、私たちが祈っています。集まったお金をハンガーゼロ活動のために
献金します」



㊤ゲストの水野氏㊤と堀田氏、㊦ジェロームスタッフと募金集めを手伝う子どもたち

でジェローム・カセバ氏(コンゴ民主共和国ハンガーゼロ駐在員)と黒坂栄司氏の講演がありました。臨場感の溢れる映像とお話を通して、参加者一人一人にとって、印象深く飢餓の現状を知る機会となりました。当日のアンケートには、「話を聞いて良かったです。“知る”“関心を持つ”“小さな行動でも力になる”ことを知ることができました。」「今でも食料不足で亡くなっている人がいるんだと思いました。」などの感想があり、何よりも“知る”ことによって一歩を踏み出す時となりました。



ハブラシ回収用の手作り封筒

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

協力企業のキングダムビジネスのフェアトレード商品ご購入を通して、ご支援くださりありがとうございました。新年もよろしくお願ひ申し上げます。



いざという時のための安心

「非常備蓄食とのセット」

非常備蓄食「パンの缶詰3缶」と
Aフェアトレードチョコレート2個
 又は**B**フェアトレードココア
 いずれかをセットで2,900円(梱包送料込み)でお届け。

※沖縄、北海道へは800円加算になります。

ご注文時に必ず**A**又は**B**から一つをご指定ください。



【お支払い】後払い

お申し込み:(株)キングダムビジネス
 スマートホンに上記QRコードから
 電話注文:06-6755-4877

台風被災者緊急支援

長野へのスタッフ派遣終了

ハンガーゼロは台風被災者支援で北信伝道協力が長野市内で実施しているボランティア活動をサポートするため、緊急支援班の伊東ほか2名を派遣しました。スタッフ派遣は11月末で終了しました。緊急募金へのご協力を感謝いたします。募金は12月末まで受付いたします。

2020年3月バングラデシュ・スタディーツアー 締切迫る!
 日程:2020年3月6日~14日(9日間)
 費用:19万5,000円

募集人数:12人(最少催行人数10人)
 活動内容:FHバングラデシュの活動視察。マチュパラ地区でのサポートチャイルドの活動視察、子どもたちの家庭訪問、異文化交流や伝統工芸作りの体験などを予定しています。

募集締め切り:2020年1月6日
 問い合わせ:東京事務所

ファシリテーター参加者を募集

国際協力を目指す人の学び

3月16日から20日までの日程で開催する「ハンガーゼロ・ファシリテーター・トレーニングキャンプ at TCU」(東京基督教大学内)の参加者を募集しています。将来、



途上国の人々と共に生き、働きたいと願っておられる方のためのキャンプです。共同生活をしながら、専門的な講義とグループワークで楽しく学べます。お問合せは、**大阪事務所 072-920-2225 まで**

書き損じ「年賀はがき」で協力

書き損じた「年賀状」やポストに未投函のもの(書き込み、汚れのあるもの、私製ハガキは不可)がありましたら、**大阪事務所まで**お送りください。支援になります。

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

ワン・ワールド・フェスティバル2020

西日本最大の国際協力のお祭り
 2020年2月1日(土)・2日(日)10~17時
 ハンガーゼロ・カフェを出演

ハンガーゼロ大阪事務所は、今回もワン・ワールド・フェスティバルにブース出展します。会場では様々な国際協力団体の展示や催しがあります。ぜひご来会ください。写真は昨年。
 ●出展場所
 ハンガーゼロ:扇町公園
 (みんなのキッチン)※雨天決行



サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 354号

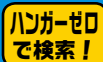
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **4697** 口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
 eメールアドレス general@jifh.org
 フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
 ①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
 ②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
 (広島) TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
 東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
 (東北) TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
 愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F
 TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
 沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メソソク米202号
 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216
 U.S.A. Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
 8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
 TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター